

2 基の研究炉の稼働状況等は以下のとおりです。

・ 京都大学研究用原子炉（KUR : Kyoto University Research Reactor）

KURは定期検査等の期間及び年末年始を除き、通常、週単位で火曜から木曜日まで連続運転を行っており、令和5年度の運転実績、令和6年度の運転予定は次のとおりです。

令和5年度：令和5年7月25日～令和6年2月15日（全運転時間 930時間）

令和6年度：令和6年7月23日～令和7年2月6日まで運転予定

・ 京都大学臨界集合体実験装置（KUCA : Kyoto University Critical Assembly）

KUCAは定期検査等の期間及び年末年始を除き、通常、1日を単位として運転を行っておりますが、現在、低濃縮燃料での運転切り替え対応のため、令和3年7月下旬から運転を休止中です。今のところ、令和6年度中には低濃縮燃料による運転を開始できるよう準備を進めています。

【参考】



KURの炉心

《 KURの概要について 》

- ・ スミングプールタンク型原子炉
- ・ 最大熱出力 5,000kW
- ・ 中性子を利用した物理学、化学、生物学、工学、農学、医学等の幅広い実験研究等に使用。



《 KUCAの概要について 》

- ・ 炉心の組換えが容易な原子炉
- ・ 最大熱出力 100W
- ・ 炉物理研究、国内外の学生実験教育等に使用。

KUCAの炉心（上：固体減速炉心、下：固体減速炉心）

京都大学における事故等事案について

● 京都大学研究用原子炉（KUR）の自動停止について

KURは、出力5,000kWで運転中の令和5年8月24日に落雷による瞬時的な停電（約0.45秒間）により、自動停止（スクラム）しました。

その際、KURは安全に停止しており、炉室内外の放射線量も通常の数値で問題ありませんでした。

なお、本事象については、原子炉施設等でのトラブル発生時の通報ルールに従い、速やかに大阪府他関係自治体等へ通報するとともに、当研究所ホームページにて公表しました。

*スクラムとは：

原子炉の安全確保において最も重要な機能で、原子炉の運転状態に異常が発生した場合に原子炉を緊急停止させること。

住民広報について（その1）

● 施設見学等について

・ 一般公開、桜公開

毎年4月初旬(土・日)に主に地域住民を対象とした一般公開(研究炉等の施設見学、科学実験コーナー等)、桜公開(構内の桜見学)を実施。

令和6年度見学者数：4月1日(254人)、4月2日(513人)

・ 施設見学会

中学生から一般の団体等までを対象とした施設見学会(ミニ講義、施設見学等)を毎月1回実施。令和2年度より新型コロナウイルス感染症による影響で実施されていなかったが、令和5年9月より再開。

令和5年度施設見学会参加者数：163人

・ アトムサイエンス講演会、アトムサイエンス実験教室

講演会は中学生以上が対象、実験教室は中学生が対象で毎年10月頃に実施。

令和5年度：講演会(86人参加)は令和5年10月28日にハイブリッドで実施。

実験教室(21人参加)は令和5年11月5日に対面で実施。

令和6年度：講演会はハイブリッドにより、令和6年10月5日に実施予定。

実験教室は対面により、令和6年10月27日に実施予定。

住民広報について（その2）

● 情報発信等について

- ・ 地元広報誌「アトムサイエンスくまとり」
地元広報誌として、年2回刊行（春・夏号、秋・冬号）し、地元関係機関等へ配布している。
- ・ LINE公式アカウント「京都大学 複合原子力科学研究所」を開設
令和3年3月に当研究所のLINE公式アカウントを開設し、定期的に地域住民の方々等へ研究所のニュース、イベント、研究成果等の情報発信している。
- ・ 地元会議での原子力施設の安全管理等に係る定例報告等
熊取町原子力問題対策協議会
開催日：令和6年7月30日
泉佐野市原子力問題対策協議会
開催日：令和6年8月5日
大阪府原子炉問題審議会
開催日：令和6年8月9日